

2016年3月9日

～ビンズン新都市で新たにバス5路線を開業～  
**バス新路線開業記念式典をビンズン新都市 hikari バスターミナルで開催**

東京急行電鉄株式会社  
BECAMEX TOKYU CO.,LTD.  
BECAMEX TOKYU BUS CO.,LTD.

東京急行電鉄株式会社(以下、東急電鉄)が2012年3月に設立したベトナム国現地パートナー企業との合弁会社である BECAMEX TOKYU CO.,LTD.(以下、ベカメックス東急)の100%子会社である BECAMEX TOKYU BUS CO.,LTD.(以下、ベカメックス東急バス)は、ビンズン新都市の中心地区から主要個所および周辺地域を 結ぶバス5路線を3月5日(土)から新たに開業しました。

この開業を記念し、3月8日(火)にはビンズン新都市にある商業施設「hikari」の前に設置されたバスターミナルにおいて、開業記念式典を開催しました。日本・ベトナムの関係者約200人が参加した式典では、ベカメックス東急バスの古川卓社長が「本事業に関わるベトナム・日本両国の関係者に、心より感謝と御礼を申し上げます。今回の路線拡大により、旧省都トゥーヤモット市街と新省都ビンズン新都市の主要な場所を面的にカバーし、エリア内移動が可能となります。私たちは、スタッフや各運転士がお客さまに信頼されるサービスを提供し、地域の皆さまに愛されるバスであることを目指します」と挨拶を述べました。また、参列者からは、「バスターミナルを交通の結節点として、トゥーヤモット市街とビンズン新都市間、およびビンズン新都市内における公共交通によるアクセスが格段に向上し、今まで以上に利便性が高まることで、ビンズン新都市の発展にも大きく寄与するものと考えます。そして、将来に向けたオートバイから公共交通へのモーダルシフトの契機となるとも期待しています(東急電鉄の星野取締役常務執行役員)」「ベカメックス東急バスは、路線運行開始以降、地域にお住まいの方々から高い評価を得ています。ビンズン省において、斬新かつ先進的で環境にやさしいバスサービスの形を示すとともに、交通渋滞・事故の減少に寄与しています。今後、ベカメックス東急が益々発展し、ビンズン省およびトゥーヤモット市において、さらなるバスを展開することを期待しています(ビンズン省共産党のリエム副書記長、人民委員会副委員長)」などのお言葉をいただいたほか、14名によるテープカットなども執り行われました。

ベカメックス東急およびベカメックス東急バスは、今後もビンズン新都市内の豊かな生活環境の整備を推進していきます。

以 上



▲日越代表14名によるテープカット

## <挨拶の要旨>

### ■ベカメックス東急バス 社長 古川 卓

当社は、2014年2月の新都市行政センター竣工式典において、ベカメックス東急有限会社の100%子会社として投資許可をいただき、同年12月のファンゴクタ新都市連絡道路完成に合わせて「KAZE SHUTTLE」を本開業しました。以降、ビンズン省人民委員会、関係各省各部署、トゥーヤモット市人民委員会およびベカメックスIDC社の大きなご支援をいただきながら、お客さまに信頼され、地域の皆さまに愛される公共交通システムを実現し、環境への負担を減らすとともに、交通安全と交通事故の逡減に向けて取り組んでいます。

東急バスが日本国内で長年培ってきたノウハウを活用し、当社はビンズン新都市において、清潔で快適な車両の提供、時刻表に基づく定時運行、各バス停に時刻表を掲示、お客さまへの丁寧な接客案内、安全・事故防止教育の徹底といった日本流のバスサービスを提供しています。これまで、2点間を結ぶ線形的サービスでしかありませんでしたが、バスターミナルを交通結節点として、すべての路線が接続し乗り換え可能とすることにより、旧省都トゥーヤモット市街と新省都ビンズン新都市の主要な場所を面的にカバーし、エリア内移動を可能にするバスサービスを提供します。また、新路線開業に合わせ、車内での無料Wi-Fiサービスも開始します。通勤・通学の際、インターネットやメールの送受信が可能となり、お客さまにはさらに便利にご利用いただけます。

私たちは、スタッフや運転士ひとりひとりがお客さまに信頼されるサービスを提供し、地域の皆さまに愛されるバスであることを目指します。そして、従業員が誇りを持って仕事ができる会社であり続けたいと願います。

### ■東急電鉄 取締役常務執行役員 星野 俊幸

hikari・バスターミナルを交通の結節点として、トゥーヤモット市街とビンズン新都市間、およびビンズン新都市内における公共交通によるアクセスが格段に向上し、今まで以上に新都市の利便性が高まることにより、ビンズン新都市の発展にも大きく寄与するものと考えます。そして、将来に向けたオートバイから公共交通へのモーダルシフトの契機になるとも期待しております。

私ども東急が、ベカメックスIDCとのMOUを締結した2011年当時の新都市は、まだ基幹道路など基本インフラが整備されていた以外は、若干の住宅やスポーツ施設、東部国際大学の校舎があるのみでした。その後、人民委員会合同庁舎が完成し、新都市道路の完成により国道13号線と直接繋がり、さらに、ベカメックス東急による高層住宅「SORA gardens I」や商業施設ヒカリが完成するなど、大きく変貌を遂げています。

今も、周辺工業団地への企業進出は続いており、隣接するホーチミン市とともに人口は確実に増加していきます。ビンズン新都市は、そうした成長を受け止めるためにも社会基盤整備や生活基盤整備を進めていかねばなりません。我々東急グループも引き続き街づくりに取り組み、微力ながらビンズン省の発展に貢献していきます。

### ■ビンズン省共産党副書記長、人民委員会副委員長 チャン タン リエム

ベカメックス東急バスは、バイク利用から公共交通利用へのモーダルシフトを目指してバスプロジェクトを実施しています。バス路線の運行開始以来、地元のお客さまから高い評価を受けています。そして、バス路線を運行することにより、省にお住まいの方々および通勤・通学の方々に安全で先進的な交通手段を提供することに役立っています。ビンズン省において、斬新かつ先進的で環境にやさしいバスサービスの形を示すとともに交通渋滞の軽減および交通事故の減少に寄与しています。

今回、ベカメックス東急バスは、各路線および新都市内循環路線を開通することにより、ビンズン省の方々にはさらにベカメックス東急バスに親しみを持つことができると思います。ビンズン省は、バスプロジェクトの第2弾を展開したことを高く評価しています。そして、ベカメックス東急バスが益々発展し、ビンズン省およびトゥーヤモット市において、更なるバス路線を展開することを期待しています。

ビンズン省および関係各官庁は、ベカメックス東急をはじめ、ビンズン省に進出される各企業の皆さまが事業を行いやすくするため、有利な条件を策定し、困難や問題は速やかに解決するよう協力します。